

太陽光発電設備に対するプロジェクトファイナンスの組成について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、当行をアレンジャーとするシンジケート・ローンによるプロジェクトファイナンスを組成いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、今後とも東北地域のリーディングバンクとして、総合金融サービスの提供を通じた地域社会・経済の発展およびSDGs（持続可能な開発目標）達成へ向けた取組みを積極的に推進してまいります。

記

1. 案件概要

本件は、宮城県栗原市に所在する商業運転開始済みの太陽光発電設備を、合同会社DSソーラープロジェクト宮城栗原が取得のうえ発電事業を行うこと（以下、「本プロジェクト」といいます。）に際し、当該取得資金をシンジケート・ローンによるプロジェクトファイナンスにて提供するものです。

- (1) 事業主体：合同会社DSソーラープロジェクト宮城栗原
- (2) 発電規模：21,760kW（認定出力）
- (3) アレンジャー：七十七銀行
- (4) コ・アレンジャー：横浜銀行
- (5) 参加金融機関：七十七銀行、青森銀行、秋田銀行、岩手銀行、東邦銀行、山形銀行、横浜銀行（五十音順）
- (6) 契約締結日：2021年9月14日

2. 経緯

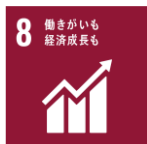
本プロジェクトは、宮城県栗原市において、敷地面積505,584㎡の土地を活用して行われるメガソーラー発電事業です。合同会社DSソーラープロジェクト宮城栗原が事業主体となり、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を活用して東北電力ネットワークに全量売電を行うもので、発電設備規模は21,760kWであり、一般家庭の年間消費電力約6,000世帯相当分の発電量を見込んでおります。

当行グループは、グループ全体でSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて取り組んでおり、再生可能エネルギーの普及促進と地域経済の活性化を支援する観点から、シンジケート・ローンによるプロジェクトファイナンスを組成したものです。

- 1 -



(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言〜もっと、ずっと、地域と共に。〜」を表明しました。

<全体図>



(参考1) シンジケート・ローンについて

アレンジャーが中心となって融資条件を決定し、複数の金融機関でシンジケート団を組成して行う融資形態です。企業にとっては、同一の借入条件のもとで多数の金融機関との取引窓口が一本化されることにより、資金調達に伴う事務の簡素化、効率化が可能となります。

(参考2) プロジェクトファイナンスについて

プロジェクトファイナンスは、ある特定の事業・プロジェクトを独立した事業体とし、当該プロジェクトから生み出される収益およびキャッシュフローを返済原資とするファイナンスです。

以上